

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年4月20日

【評価実施概要】

事業所番号	1291200077		
法人名	株式会社ケアネット徳洲会		
事業所名	グループホームむつみ		
所在地	〒273-0121 千葉県松戸市六実1-47-2 (電話)047-383-0700		
評価機関名	特定非営利活動法人 日本高齢者介護協会		
所在地	東京都文京区本駒込3-15-10		
訪問調査日	平成19年3月14日	評価確定日	平成19年4月20日

【情報提供票より】 (19年2月24日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年6月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	11 人	常勤	2 人, 非常勤 9人, 常勤換算 9.3 人

(2) 建物概要

建物構造	木造準耐火造り		
	2階建ての	1階～	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円) 無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	250 円	昼食 500 円
	夕食	550 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要 (2月24日現在)

利用者人数	13 名	男性	3 名	女性	10 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名		
要介護3	5 名	要介護4	1 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 82 歳	最低	77 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団木下会 千葉西総合病院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

松戸市の郊外に平成18年6月に開設された2階建て木造2ユニットのホームです。同法人の経営するデイサービスセンターとウッドデッキと芝生の庭を挟んで配置されています。全体にゆったりとつくられており、居室は約8畳あり、庭もひろびろとしています。芝生の庭には季節な花が植えられており、裏庭には菜園もあります。このホームのサービスの特徴は理念にも掲げられている「なじみの生活」を大切に、寄り添いながら暮らしていくことで、実際、職員は明るく、アンケートでも「家庭的で明るく安心して暮らせませす」との声が多く寄せられています。手作りの歌集を職員がつくり、皆で懐かしい歌を一緒に歌っている和やかな光景が印象的です。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>今回が初めての外部評価です。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営開始から半年を経て、ようやく軌道に乗り始めた時期に外部評価を受け、様々な視点から現状を評価し、改善につなげていこうという法人とホームの意思があります。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は包括支援センター、町内会、民生委員の参加を得て、4月から実際活動を開始する予定となっています。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族への報告・連絡は、ケアプランの内容と実際の状況を、月1回の精算時を活用して行っています。意見、苦情の吸い上げについてはその都度行っており、サービス改善につなげています。連絡ノートなどの設置も考えており、家族とのコミュニケーションをより強しようという意思があります。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>利用者への対応を最重点にして運営とサービスを行ってきたため、地域との関係づくりはこれからです。利用者は既になじみのスーパーや美容院なども出来、地域との接点を増やしています。具体的にどういふことで地域と連携をとっていくのいいか、法人、管理者、職員共色々アイデアを模索しているところです。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人は複数の事業所を有していますが、理念は事業所独自につくるという考え方で、当ホームでは、「お一人おひとりの「なじみの生活」を大切にしていく」「出来る事をやりたい事を応援し寄り添いながら暮らし続ける」の2点を理念としています。	○	「地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えるサービス」という観点から、現在の独自の理念を更に充実されることを期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は1階の事務室内に掲示し、共有化をはかっています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	消防訓練を消防署員の指導のもと行っている。利用者も熱心に消火器の使い方、通報の仕方を習うことが出来有効です。自治会・町内会への加入手続きを最近行いました。	○	加入によって、地域活動への参加、地元の人々との交流を具体的にを行うことを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	法人運営担当者、管理者は評価の意義について理解を深め、運営とサービスの向上に役立てようとの意思があります。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には町内会・民生委員・包括支援センターの参加を得て設置を行いました。	○	会議の継続的開催を通じ、地域・市町村との相互理解を更にすすめていかれることを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	日常サービスの構築に注力している段階なので、市町村との連携は特にまだ行っていません。	○	市町村の担当者と顔なじみになり、なんでも相談できる関係をつくりあげていくことを期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月々の費用精算時を活用して、利用者の生活状況、健康状態など、個々人の状況に応じて電話又は面会で、家族に報告を行っています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	まだケアプラン作成・更新時に意見・意向を聴く以外、具体的な機会・方法を設けていません。	○	ホーム内にご意見箱をもうける、あるいは各居室に連絡ノートをおくなどの具体策を検討中ですので、早期に実施することを期待します。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人は、職員と利用者との関係性を崩すことがないように、日々の業務推進状況を確認しています。異動が必要な際は、本人の意思確認を行った上での判断をしています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人は、月1～2回、社内研修の機会をもうけ、実施しています。また、面接等を通じて、個々人の能力状況、習得希望スキル・資格などを確認しています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	併設のデイサービスセンターならびに同法人の隣市のホームと職員相互の勉強会を実施しています。	○	地域の社会福祉協議会などが主催する研修会への参加を考えているとのことなので、実施が期待されます。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族との話し合いを行い、納得し安心してサービスを開始出来る様な配慮をしています。7日間の体験入所を設定し、利用者がグループホームの雰囲気に馴染み、とけ込みやすい様な取り組みを工夫しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事に関しては、当ホームで利用者と共に植えた春菊を食材として使い、利用者の生き甲斐に繋がると同時に新鮮な野菜が食べられ、良い取り組みと思われま。食事の後片付けを利用者と職員が共にし、アットホームな雰囲気が伝わってきました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の状態に合わせて、排泄パターンや日々の生活パターンを把握して、必要に応じて記録をし、職員から情報確認を行い利用者の希望や意向を尊重し、総合的な状況把握をしてケアプランが作成されています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者一人に対して、担当職員が一人という把握しやすい状況で、家族との話し合いの機会を多く持ち、それぞれの意見や希望を取り入れた介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	緊急性が高い場合は家族に状況を報告し、その時々々の状況に合わせてケアプランの修正・変更作成を臨機応変に対応しています。	○	今後は、ケアマネジャーが立てたプランを、ケアカンファレンスを行って職員間で共有化を進めていく必要性を、管理者は認識していますので、早期の実現が望まれます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	当ホームの隣に中庭をはさんで、同一法人のデイサービスセンターが併設されています。レクリエーション参加など多機能を活かした支援を行っています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当ホームは、経営法人の母体が病院であり、連携が取れやすいメリットがあります。訪問歯科は毎週、訪問皮膚科は必要のある利用者を把握し支援しています。夜勤体制の職員が一人だけで心配です、という家族アンケートの声があります。一階、二階と一人ずつ二人で対応しています。	○	当ホームは、まだ設立から一年も経過していない状況で、利用者の今までのかかりつけ医に、家族の協力のもとに行われています。今後、利用者の高齢化・重度化が進むのに備え、夜勤の職員が安心して対応できる体制作りが必要です。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対しての利用者ニーズは、利用者により、このグループホームで、自宅で、病院での三通りあります。それぞれ状況に応じての家族も含めた把握は、出ています。	○	今後、利用者の状態に応じて、ケアカンファレンスを行う予定があります。法人としての重度化や終末期に向けた方針の設定が望まれます。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いについては厳重に行われ、例えば利用者の写真や本人が判別できる場合は、利用者・家族の承諾を得た上で行う体制が整っています。利用者のプライバシーに係わる発言などは、他の利用者の前では話さない、などの配慮がなされています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の状態により、職員と一緒に買い物に行ったり、園芸の好きな利用者には、庭に花を植えたり野菜を植えるのを、職員と共に行っています。全個室のため休みたい利用者は、個室での休息が出来る状況です。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備に関しては、庭に植えてある春菊を利用者に取りに行って貰い、食材にする事もあります。基本的には、毎日食材が届き利用者のその日の状態に応じて、メニューは臨機応変に工夫されています。食卓にはお盆ではなく、ランチョンマットを使用し家庭的な雰囲気になるよう工夫しています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者のニーズと身体的な状況等に合わせた入浴回数は、週1回・3回・毎日と選択ができます。時間帯も、例えば夜就寝前に入る習慣のある利用者に対しては、今までと同じ様に継続した支援がなされています。	○	大浴場への入浴希望者があり、今後の取り組みとして健康ランドセンターに行くなど、利用者ニーズ対応に取り組んでいますのでその実現に期待します。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	訪問調査に伺った午前中は、利用者が集まり歌を歌っていました。利用者同士が仲が良く、穏やかに生活している姿が何よりと思われれます。当ホームでは、家庭の延長との考えから、特に例えば、月曜は書道、火曜は華道という風なメニューは考えていません。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出の機会は、希望者には近くに「ふれあい公園」があり、季節によっては、そこで歌を歌ったり、しりとりをする取り組みは、脳の活性化にも繋がる配慮です。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	個室で、利用者が中から鍵をかける以外は、鍵はかけていない状況です。家族アンケートでは、自然に訪問者を迎えて下さり、行きやすいです。とても親しみやすく訪れる事ができます、という声が複数ありました。	○	鍵をかけない取り組みは、利用者に圧迫感を与えない配慮と思われれます。今後は不審者が侵入した場合も想定し、センサーなどの設定に検討の余地があります。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策については緊急時連絡は、電話の脇に連絡先を貼ってあり、素早く対応できる方法です。消防署員による消火器の使用法などの指導・話はありましたが、緊急時訓練等は、まだ実施されていません。	○	防災担当者を早期に選定し、町内会・消防署と連携を取りながら避難訓練を進めていく必要性を、管理者は認識しているので、良い方向へ実現することを期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量や栄養バランス、水分量は日々の記録をして、利用者の状況把握に応じた支援をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	当事業所は、新しい建物で全体のスペースが広く作られ、窓が多く設定され明るい雰囲気です。また、訪問調査にお伺いした前には、利用者がひな祭りの「お内裏様とお姫様」の和装をした時の写真が飾られ、「利用者が主役」の取り組みがなされています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の部屋は、約8畳と広く、南に面している明るい部屋です。部屋の中は、ベッドから箆笥・カーテンまで利用者が持ち込みのため、それぞれの好みを活かし、本人が居心地の良い工夫がされています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。